

第375回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 在宅聴取による遠隔開催
2. 番組聴取合評 [番組名] しづおか 星空案内室
[放送日時] 令和3年9月15日(水)及び29日(水) 20:30~21:00
[出演者] izumi
3. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司 委員 山本りさ
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
4. 番組審議 [番組名] しづおか 星空案内室
[放送日時] 令和3年9月15日(水)及び29日(水) 20:30~21:00
[出演者] izumi

[聴取・合評での主な意見]

小野委員

●全体的に izumi さんは声質がよく、落ち着いた語りで素晴らしい。コロナ禍で夜は家にいることが多くなってしまった世の中で星空を見上げることを思い出させるいい番組。

●9/15分について

・今週の星空ウォッキング

原稿をベースに読んでいるというより朗読している感があり、リスナーと一緒に学ぶ姿勢が好感である。

・酒の矢田さんトーク

星に興味をもってもらい、星が好きになって欲しいという主旨がブレずにトークが構成されている点が良い。最初の朗読と異なり i z u m i さんの抑揚あるトークは親近感があるためトークの内容に聞き入ってしまった。天文台の将来像として「大人も楽しめる天文台」は夢があって「星に願いを」的なクロージングでとても良い。選曲および選定理由もいい

●9/29分について

・オープニング

ツイートの紹介もスムーズで i z u m i さんの感想も番組の振り返りをしながら興味を持つ役割を果たしている。

・今週のウォッキング

コーナーの説明もしながら、リスナーに情報の整理を上手にインプットしているため、とても聞きやすい。

・しづほし写真展

星や月の写真投稿を紹介することはツイッターで確認したくなり、リスナーとの関係性を高めると感じた。 i z u m i さんは「しづほし写真部」と言っていると思われますがどうなんでしょうか…

加藤委員

- ・izumiさんの声やそこから感じられる雰囲気は、番組の企画書にも書かれている「星空」「夜空を見上げたくなる」「キラキラ輝く毎日」などの表現にふさわしく、ゆったりとしているのだが、時に賑やかな場合もあり、変化に富んでいて好印象を持った。またはつきりお話しされることを意識されていると思われ、とても聞きやすかった。
- ・9月15日の回は、中秋の名月のシーズンとも重なっており、内容的にもタイムリーだと思った。話の中心は暦や月見団子などの話題で、それ自体は楽しかった。しかし、せっかくタイムリーな話題だったので、月の見どころの時間帯やどの方角を見ればよいかなど、基本的な天体情報があつてもよかつたのではないかと思った（ゲストの矢田さんにお伺いするという方法もあったかもしれない）。
- ・9月29日の回は、江國香織さん的小説から入る構成で、文学好きな人には興味を惹かれる内容だったのではないかと思う。話の内容は「旦那さんの優しさ」という点にフォーカスされていったのだが、一方で、なぜそのシーンできりん座だったのだろうか、という点についてizumiさんの解釈が聞けると、文学好きの人たちの共感が上がるのではないかと思った。なお小説の話題からきりん座の天体情報に繋げていく構成は、とてもスムーズでよかつた。
- ・「しづほし写真展」の活動は、twitterも拝見したが、かなりの数がアップされており、連動の企画として興味深いものになっている。ただし今後、これに参加し続けてもらう仕掛けが（賞以外にも）必要ではないかとも感じた。
- ・リスナーさんからのメッセージも、番組で紹介された情報に応えるようなものになっていて、固定的なファンがいることがわかつた。番組の雰囲気は「星空案内室」という番組名称にふさわしいものなので、ほっとできると感じられているのではないかと思う。
- ・一方で番組が今後、どのような方向へ進もうとしているのかが気になった。水曜日の夜30分番組として、今の雰囲気を大事にすることも考えられる一方、「星空」というコンセプトだと、今後の情報の広がりについて、かなり工夫していかなければならぬのではないかと感じた。

ただし、別の日（10月3日）の放送も聴取させていただいたが、どちらかといえば「星空の話題を取り口としたトーク（＆音楽）の番組」になりつつあるようにも感じ、この方向に向かうことは番組の雰囲気ともマッチしているのではないかと思った。9月15日の酒屋（矢田さん）のゲスト回は、そうした意味でこの番組の可能性を感じさせるものではないか。

服部委員

●番組の全体的な雰囲気に関しての雑感

- ・IZUMIさんのゆっくり目で落ち着いたトーンでの入りは感じよい。
- ・冒頭の英語での案内には少し違和感がある。星空のキラキラ感を感じない。
- ・頭のトークは中秋の名月のいわれをきちんと知らなかつたので興味深く聞けた
- ・9月15日の案内人とのやりとりは、的確でエピソード（弟子）の引き出し方も自然で良かった
- ・内容とマッチした選曲で雰囲気がでている
- ・9月29日は、ゲスト無しでトークとリスナーからのお便りとしづほし写真部のお知らせであったためか、トークが少し長く感じてしまった。（星座の説明は良かった）

● 「星空観察」という決してメジャーな分野、多くの人がもともと興味を持つような分野ではないということを踏まえ、この番組をきっかけに少しでもリスナーが「星空観察」に興味を持てるような役割をこの番組を果たしているか。

- ・そもそも「星空」という分野に特化した番組を企画することに至った経緯をお聞きしたかったですね。
 - ・1年通じて変化する星空についての話題は尽きないと思うし、空を眺める楽しさに気づけるきっかけなると思われます。
 - ・この時期（秋）に視聴したせい？か、夜空、見上げたくなりました。
 - ・しづほし写真部の投稿を見ると、星好きな人にははあるかも。
- ですが、新たな層にアプローチするなら、切り口に変化を持たせる一工夫が欲しい気がします。

山本委員

●番組の全体的な雰囲気に関しての雑感

番組冒頭のリスナーからのメッセージ紹介は、メッセージを送って読んで貰いたいと感じられるような優しい雰囲気があり良かったと思います。ただ、キリン座をわかってもらうために、「きらきらひかる」の内容を説明していた部分だけはブチブチと切れる話し方でとても聴きづらく感じました。

（星好きな izumi さんなので力が入り過ぎたのかもしれません）

ひとつのこと強い興味がある方の話を聴いているのは面白いので、全体的には楽しめる番組でした。

● 「星空観察」という決してメジャーな分野、多くの人がもともと興味を持つような分野ではないということを踏まえ、この番組をきっかけに少しでもリスナーが「星空観察」に興味を持つような役割をこの番組を果たしているか

元々あまり興味がある分野ではありませんでしたが、視聴後に Twitter で「#しづほし」を検索してみたところ、星空のキレイな写真がたくさんあり、たまには星空を見てみるのもいいかなと思いました。そして、月や星をスマホで撮影してみましたが思うように撮れず、番組内で難しいと言っていたことを思い出したので、リスナーが興味を持つ効果はあると思います。

角田副委員長

・番組の全体的な雰囲気に関して

- ・izumi さんの落ち着いたトークが番組のコンセプトと時間帯にとてもよくあって。少しハスキーナ声質も聞きやすく、自然とトークに引き込まれる。良質な時間を過ごすことができる良い番組だと感じた。
- ・イントネーションが少し不自然（単語のアクセント）なところがある。愛知県出身とのことだが、急に関西弁のようにも聞こえ、語尾のアクセント、イントネーションをもう少し整えた方が聞きやすい。
- ・2回とも曲の選曲、曲数もタイミングも良く、番組の雰囲気をとてもよく醸し出している。ちょうど間が欲しいタイミングに、ほっと落ち着く曲。とても良いと思う。
- ・#25：
二人のトークも自然で聞き流しやすかった。矢田さんの朴訥とした人柄も伝わってきている。
大人が楽しめる星空観賞会についてのトークだが、結局「大人=酒を楽しみながら」に終わってい

る感があり、この点は消化不良だった。中秋の名月に合う酒としてロゼ・ワインの話があったが、ヨーロッパに伝わる話は興味を惹かれたが、結局なぜロゼなのかについては分からずじまいだった。紹介したロゼワインの特徴も「自然」に拘っているのは分かったが、味についての特徴についても説明が欲しかった。これが「大人の楽しみ」として知りたい点ではないだろうか。

・#26：

新コーナーは面白いとは思う。その一方で「ラジオでは見えない写真の情景」を描写するトーク力が必要だと感じた。「夕暮れの空もロマンチックじゃないですか。見てみてくださいね」とあったが、これではその写真の雰囲気は一般論化されていて、何が素晴らしいのかが分らない。後述するが、全般的に「色彩」についての説明力が不足していると感じる。

・星空観察に興味を持たせる役割に関して

- 多くのリスナーは夜空が見えない空間でラジオを聞いていると思う。こうしたリスナーがカーテンを開け、窓を開き、夜空を眺めるきっかけになっていると思う。
- 星は色、光、そして星座がなす造形に魅力がある。この色彩感、造形感、情景感をもう少し自身の言葉で表現して欲しい。

#25で親子の話があった。子供がやっと見ることができた夜空にはどんな色、形の月があったのだろう。この子供の感動をもっと具体的な言葉で引き出して欲しかった。子供の目と大人の目でどのように星は見え違っているのか。これを矢田さんから引き出して欲しかった。

- 「今夜の見どころの星」を紹介して欲しい。この番組を聞いた後で、どの方向、どの高さに、どんな色で輝いているのか。リスナーが実際に探して見たくなる様に紹介してみたらどうだろうか。
- 中秋の名月についての説明も#26で8年ぶりの満月だと紹介があったが、#25でこの点について強調されいたら、9月21日をもっと楽しみにできたと思う。

- 星は観るもの。だからこそ番組終了後にその日の夜空を眺めてみたくなる情景を伴う一言があると、もっと星座に興味を持てる様になると思う。

星座表をリスナーに紹介、プレゼントし、番組中に星座表を使って話をすると「星の動き」を感じられるかもしれない。

私自身、この番組を聞き終えた後にアマゾンで星座表を検索しました。

木宮委員長

●星空というテーマ設定によって、夜の穏やかな雰囲気が演出されている。季節トピックが容易であることに加え、イベント連動やリスナーの写真投稿など、広がりを感じる企画で期待が持てる番組と感じた。選曲も星空にちなんだ曲は多数あり、番組とマッチしている。リスナーに飽きられるかどうかが気掛かりであるが、ゲストの出演等の変化を加えることで長く継続できるのではないか。30分という長さも丁度よい。パーソナリティのIzumiさんについては、自分の関心のある分野の番組だけあって、活き活きと話している様子は好感が持てる。今後、番組の雰囲気を壊さないよう自分が出過ぎないようにすることも大切だろう。星空は、多くの人が興味を持つ分野ではないとはいえ、多くの人にとって身近な存在であることは間違いない。この番組をきっかけに強い関心を持つまでには至らなくても、無用な情報にはならないと思われる。Radikoのタイムフリーで聴くような番組ではないかも知れないが、家庭や運転中の聴き流しにはフィットするだろう。また、放送から派生したイベント等の実施によって、星空観察ファンを増やしていくことも可能である。特に、他のアウトドア関連番組とのタイアップによって、新たなファン層の獲得だけでなく、スポンサー獲得の可能性も見えてくるのではないかと思う。

会社サイド

前回(第374)回ではパーソナリティの番組内容に沿ったトーク内容などを評価頂いた一方、話し方などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和3年11月2日(火) 11:00~13:00を予定

以上

番組審議会委員長

木宮敬信

